

大 阪 市 高 齡 者 実 態 調 査
(本 人 調 査)
調 査 項 目 対 比 表

平成 25 年 7 月

大阪市 福祉局 高齡福祉課

【本人調査 前回の調査項目との比較】

前回調査(平成22年)の設問・設問の内容		検討内容	理由等	資料
問1	この調査票の記入者について	そのまま		P1
問2	性別や年齢についてなどについて	そのまま		P1
	(1) 性別			
	(2) 年齢			
(3) 居住区				
問3	同居家族の状況(世帯の状況)	そのまま		P2
	3-1 (ひとり暮らしの方以外)昼間独居の状況			
問4	どのような住宅に住んでいるか(戸建、共同住宅、サ高住など)	そのまま	制度変更に伴う選択肢の変更	P2、3
	4-1 住まいのバリアフリー等の状況	問の変更	回答しやすいよう問と選択肢を変更。	
問5	介護保険の申請、認定状況	そのまま		P3、4
	5-1 (要介護・要支援の方)介護保険サービスの利用状況	削除	介護保険サービス利用者等調査に同内容の調査あり。	
	5-2 (介護保険未申請の方)未申請の理由	そのまま		
問6	日常生活動作・日常の活動状況	そのまま		P4
問7	外出の頻度	そのまま		P5
	7-1 (ほとんど外出しない方)外出しない理由	回答対象変更	「月に1～3回しか外出しない方」も回答対象に含める。	
問8	健康に気を使っているか	問の変更	健康づくり・介護予防に関する問に変更。	P6、7
	8-1 (運動や散歩をしている方)場所ごとに運動等の頻度	削除	前回結果を反映できていない。無回答も高い。	
問9	かかりつけの医師や歯科医師の有無	そのまま		P8
問10	根っこのある歯の本数	そのまま		P8
問11	食事の際に何らかの支障があるか	問の変更	具体的にかんで食べることができるかの問に変更。	P9

【本人調査 前回の調査項目との比較】

前回調査(平成22年)の設問・設問の内容		検討内容	備考	資料
問12	日常生活全般で不安を感じているかどうか	そのまま		P 9
	12-1 (不安のある方)どのようなことを不安を感じるか	そのまま	選択肢を一部追加	P 9
問13	現在、収入のある仕事をしているか	そのまま		P10
問14	今後、仕事をしたい(続けたい)か	そのまま		P10
	14-1 (仕事をしたい方)仕事をしたい(続けたい)理由	そのまま		P10
問15	楽しみや生きがいと思うこと	そのまま	一部選択肢を削除	P14
問16	市のいきがい施策等の参加状況(意向)	そのまま	事業廃止等による項目の削除	P27
問17	介護や援護が必要になった際の暮らし方の希望(在宅か施設か)	そのまま		P16
問18	在宅生活継続のために必要と思う支援内容	そのまま		P16
問19	在宅福祉サービスの参加状況(意向)	そのまま	満足度を利用意向に。項目の追加、変更	P28
問20	保健サービスの参加状況(意向)	削除	健康づくりや介護予防に関する設問に変更。	P29
問21	地域包括・ランチの利用状況(認知度)	問の変更		
	(1) 地域包括の利用状況・認知度	削除	回答しやすいよう、包括等を知っているかの問に変更。別途、包括等利用した方向けの設問を設定。	P18 P19
	(2) ランチの利用状況・認知度	削除		
問22	高齢者虐待を受けたことがあるか	問の変更	虐待を受けた(聞いた)際の相談先の把握に変更	P20
問23	認知症という病気を知っているか	そのまま		P20
問24	認知症の診断を受けた方がいるか	問の変更	認知症を不安と思う際の相談先の把握に変更	P21
問25	認知症に関して不安に思うこと	問の変更	認知症支援のために必要なことの把握に変更	P22
問26	困ったときの相談先	そのまま	再構築と関連し、選択肢を変更	P26
問27	高齢者向けサービス情報の入手先	そのまま	再構築と関連し、選択肢を変更	P30
問28	重点的な高齢者施策について	そのまま	再構築と関連し、選択肢を変更	P31

【本人調査 新たに追加した設問】

平成25年 調査票(案)における設問・設問の内容		検討内容	理由等	対比表
新設-問1(4)	お住まいの区における居住年数	ひとり調査から	地域生活状況等とのクロス集計用。	P1
新設-問4-1	(持ち家の方)住宅の建築時期が昭和56年6月以降かどうか	追加	高齢者の持ち家が耐震性建物かどうかを把握。	P2
新設-問9	外出の際、どのような目的で外出するか	追加	外出の頻度とクロスし、外出が多い方、少ない方の外出目的を把握。	P5
新設-問11	健康づくりや介護予防で今後取り組みたいこと	追加	今後の健康づくりや介護予防に関する意向の把握	P7
新設-問19	近所付き合いの程度	ひとり調査から	孤立化防止等に重要となる近隣との付き合いの状況を把握。	P10
19-1	(近所付き合いがほとんどない方)付き合いがほとんどない理由			
新設-問20	継続的に参加している団体や集まり	ひとり調査から 区の意見反映	元気な高齢者の社会活動への参加状況を把握。	P11
20-1	(参加している方)参加するようになったきっかけ			
20-2	(参加していない方)参加していない理由			
新設-問21	地域社会における担い手として貢献したいこと	区の意見反映	地域社会への貢献に対する意向を把握。	P12
新設-問22	地域で行われている見守り活動として知っているもの	追加(再構築)	ネットワーク推進員の運営補助廃止の影響等の把握。	P12
新設-問23	近隣による支え合いとして、自身が手伝えること	ひとり調査から 区の意見反映	「互助(地域の支え合い)」の観点から、近隣との関係の中での支援の状況を把握。	P13
新設-問24	困ったときに近隣に助けてほしいと思うこと			
新設-問26	介護保険料が高くなっても特養整備を望むかどうか	追加	今後の施設整備に関し、サービス供給量と利用者負担についてニーズを把握。	P15
新設-問27	特養入所の際、従来型かユニット型かどちを望むか	追加	特養の整備方針決定に関し、ニーズを把握。	P15
新設-問30	現在の生活等についての気持ち、満足度	追加	日々の生活・暮らし向きの満足度等の実態を把握。	P16
新設-問31-1	(包括等を知っている方)どのようにして知ったか	追加	包括等の認知度の把握とともに、効果的な周知方法、満足度の高い業務の把握。	P18、19
31-2	(包括等を利用した方)どのような目的で利用したか			
31-3	(包括等を利用した方)利用した際の満足度			

【本人調査 新たに追加した設問】

平成25年 調査票(案)における設問・設問の内容		検討内容	理由	対比表
新設-問36	孤立死について身近に感じるかどうか	追加	孤立死に対する高齢者の考え方を把握。 孤立死を防ぐために有効と考えるサービス等について把握。	P23、24
36-1	(身近に感じる方)身近に感じる理由			
新設-問37	孤立化を防ぐために有効と考えるサービスや支援内容			
新設-問38	災害時や緊急時に一人で避難できるか	ひとり調査から	災害が起こった際の支援者の状況、災害時の心配事を把握。	P25
38-1	(一人で避難できない方)手助けを頼める人がいるかどうか			
新設-問39	災害が起きた際の心配事はどのようなことか			
新設-問40	地域団体等への個人情報提供についての考え方	追加	個人情報提供に関する、高齢者自身の考え方を把握。	P25

本人調査

・28問 45問

(17問増加:ひとり暮らし調査から移行、区長等区の意見を反映したもの、関係局の意向、再構築に関係した設問を追加したことによる。)

ひとり暮らし調査

・33問 9問

(23問減少:本人調査に移行させたり、精査のうえ本人調査との重複や質問の必要がないと判断したことにより削除したことによる。)

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目								
<p>問 1 この調査票をご記入されるのはどなたですか。(はひとつ) 1 ご本人 2 ご家族 3 その他 ()</p> <p>問 2 あなた(あて名ご本人：以降の質問も同じ)の性別、年齢などについて おうかがいします。 (1) あなたの性別をお答えください。(はひとつ) 1 男性 2 女性</p> <p>(2) あなたの年齢をお答えください。(はひとつ) 1 65～69 歳 2 70～74 歳 3 75～79 歳 4 80～84 歳 5 85～89 歳 6 90 歳以上</p> <p>(3) あなたのお住まいの区はどちらですか (はひとつ) 1 北区 2 都島区 3 福島区 4 此花区 5 中央区 6 西区 7 港区 8 大正区 9 天王寺区 10 浪速区 11 西淀川区 12 淀川区 13 東淀川区 14 東成区 15 生野区 16 旭区 17 城東区 18 鶴見区 19 阿倍野区 20 住之江区 21 住吉区 22 東住吉区 23 平野区 24 西成区</p>	<p>問 1 (略) 【基本必須項目】</p> <p>問 2 (1) (略) 【性別によるクロス分析用項目】 (2) (略) 【年齢によるクロス分析用項目】 (3) (略) 【区別によるクロス分析用項目】</p>								
<p>(4) あなたは、現在お住まいの区内に暮らし始めてどれくらい経ちますか。 (はひとつ)</p> <table border="0"> <tr> <td>1 1 年未満</td> <td>2 1 ～ 3 年未満</td> </tr> <tr> <td>3 3 ～ 5 年未満</td> <td>4 5 ～ 10 年未満</td> </tr> <tr> <td>5 10 ～ 20 年未満</td> <td>6 20 ～ 30 年未満</td> </tr> <tr> <td>7 30 年以上</td> <td>8 生まれてからずっと</td> </tr> </table>	1 1 年未満	2 1 ～ 3 年未満	3 3 ～ 5 年未満	4 5 ～ 10 年未満	5 10 ～ 20 年未満	6 20 ～ 30 年未満	7 30 年以上	8 生まれてからずっと	<p>(新設)問 1 (4) ・ ひとり暮らし調査から移行する「地域活動の状況等」に関する調査項目とあわせてクロス集計用の項目とする。</p>
1 1 年未満	2 1 ～ 3 年未満								
3 3 ～ 5 年未満	4 5 ～ 10 年未満								
5 10 ～ 20 年未満	6 20 ～ 30 年未満								
7 30 年以上	8 生まれてからずっと								

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問3 あなたの世帯の状況についてお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 ひとり暮らし 28ページ以降の「ひとり暮らし調査」についてもご記入をお願いします</p> <p>2 夫婦のみで、配偶者も65歳以上</p> <p>3 夫婦のみで、配偶者が65歳未満</p> <p>4 1～3以外の世帯で、全員65歳以上</p> <p>5 その他の世帯(1～4以外の世帯)</p> <p>この調査における「ひとり暮らし」には、共同住宅等の建物において、ご自身の専用の部屋にひとりでお住まいの方も含まれます。</p>	<p>問3 (略) 【世帯状況によるクロス分析用項目】</p> <div data-bbox="1151 331 2051 579" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(部会后追加)問3の欄外の注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> ひとり暮らしについて、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅等に住んでいる方によっては、ひとり暮らしの捉え方が異なるかもしれないので、ひとり暮らしについての注釈(定義)を追加する。 </div>
<p>問3-1 あなたの昼間の状況は、次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)</p> <p>1 一人だけのときの方が多い</p> <p>2 一人だけになるときは少ない</p> <p>3 一人だけになるときはほとんどない</p>	<p>問3-1 (略) 【昼間独居高齢者の把握】</p>
<p>問4 あなたのお住まいの住宅は、次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)</p> <p>1 持ち家(一戸建)</p> <p>2 持ち家(マンションなどの共同住宅)</p> <p>3 市営住宅・府営住宅</p> <p>4 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅</p> <p>5 民間の賃貸住宅(6を除く)</p> <p>6 サービス付き高齢者向け住宅</p> <p>7 有料老人ホーム</p> <p>8 その他()</p> <div data-bbox="584 1117 1108 1241" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(選択肢の変更)問4</p> <ul style="list-style-type: none"> 制度変更に伴う選択肢の変更 </div>	<p>問4</p> <p>1～5 (略)</p> <p><u>6 高齢者専用賃貸住宅や高齢者向け優良賃貸住宅</u></p> <p>7～8 (略)</p>
<p>問4-1 お住まいの住宅について建築時期をお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 昭和56年5月31日以前に完成</p> <p>2 昭和56年6月以降に完成</p> <p>3 わからない</p>	<div data-bbox="1234 1254 2096 1409" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(新設)問4-1</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和56年に建築基準法が改正。災害弱者である高齢者の持家に関して、耐震等建物が否か等の実態を把握する。 </div>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問5 あなたの住まいの住宅は、高齢者が安全・安心に暮らす対応がされていますか。(はひとつ)</p> <p>1 室内の段差等を解消している(されている) 2 階段や廊下等に手すりを設置している(されている) 3 トイレや浴室を使いやすく改修している(されている) 4 緊急時対応の職員が配置されている 5 特に対応していない(対応されていない) 6 わからない</p>	<p>問4-1 お住まいの住宅は、<u>建物として段差の解消や手すりの設置(改修)</u>をしていたり、<u>緊急時対応の職員がいたりする等</u>、<u>高齢者が安全・安心に暮らす対応がされていますか?</u></p> <p><u>1 対応されている</u> <u>2 対応されていない</u></p> <p>(問・選択肢の変更) 問5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回調査時に、バリアフリー等の対応状況に関する項目として追加。 ・ 2つの内容に関する問となっており、前回の調査結果では「無回答が3割近い」。 ・ 2つの内容について、分析が可能となるよう、問と選択肢を見直す。
<p>問6 あなたの介護保険の申請、認定状況は、次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)</p> <p>1 非該当(自立) 2 要支援1 3 要支援2 4 要介護1 5 要介護2 6 要介護3 7 要介護4 8 要介護5 9 現在申請中である(結果がでない) 10 わからない 11 申請していない</p> <p>(枝問の削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回調査時は、認知症の設問を追加したことに関連して追加しているが、「介護保険サービス利用者・未利用者調査」において同様の設問があるため、本人調査からは、削除する。 	<p>問5 (略) 【認定結果等によるクロス分析用項目】</p> <p>問5-1 あなたが現在、利用されている介護保険サービスについておたずねします。(はいくつでも)</p> <p><u>1 訪問介護(ホームヘルプサービス)</u> <u>2 訪問看護</u> <u>3 通所介護(デイサービス)</u> <u>4 短期入所生活介護(ショートステイ)</u> <u>5 夜間対応型訪問介護</u> <u>6 認知症対応型通所介護(認知症の人向けのデイサービス)</u> <u>7 小規模多機能型居宅介護</u> <u>8 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)</u> <u>9 その他()</u> <u>10 利用していない</u></p>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 6-1 あなたが介護保険の認定申請をしていない理由は何ですか。 (はひとつ)</p> <ol style="list-style-type: none">1 介護保険の介護サービスを受ける必要がない2 受けたいサービスがない3 申請の手続きがわからない4 申請の手続きが面倒である5 介護保険の介護サービスの利用料が高い6 その他 ()	<p>問 5-2 (略) 【介護保険の未申請の理由を把握】</p>
<p>問 7 あなたの日常生活の状況は、次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)</p> <ol style="list-style-type: none">1 日常生活は自分で行え、交通機関等を利用して一人で外出できる。2 日常生活はほぼ自分で行え、近所であれば一人で外出できる。3 家の中での生活はおおむね自分で行っているが、外出は一人ではできない4 家の中での生活は誰かの手助けが必要で、日中もベッド(ふとん)のうえにすることが多い5 トイレ、食事、着替えなども介助が必要で、一日中ベッド(ふとん)のうえにいる	<p>問 6 (略) 【日常生活動作・外出時の状況の把握】</p>
<p>問 8 あなたは、買物や散歩を含め、どれくらい外出しますか。(はひとつ)</p> <ol style="list-style-type: none">1 ほとんど毎日2 週に 1 回以上外出する3 月に 1 ~ 3 回しか外出しない4 ほとんど外出しない	<p>問 7 (略) 【外出の頻度の把握】</p>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>(問の変更)問8-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回調査時は、前の設問で「4 ほとんど外出しない」方のみ その理由を聞いていたが、「3 月に1~3回しか外出しない」方 も外出頻度としては少ないため、その理由を把握する。 <p>問8-1 外出しない(外出が少ない)理由は何ですか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 身体上の理由で外出がむずかしいから 2 付き添いあるいは介助者がいないため外出に苦労する 3 バス、地下鉄、電車などへの乗車がむずかしいから 4 出かけた場所や用事がない 5 人と会うのがおっくう(めんどう)に感じられる 6 その他() 7 特にない <p>(選択肢の変更)問8-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回調査時は、「1」の回答が7割を占めていた。「心」と「体」のどちらの都合によって外出が困難であるかが重要となることから選択肢を分割。 ・ また、前回調査の選択肢「3」、「4」の選択肢は、「段差等があることを要因」とした選択肢としているが、幅広く回答しやすい選択肢に変更。 <p>問9 あなたは、外出するときは、どのような目的で外出しますか。 (はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 仕事 2 買い物など日常生活の用事 3 散歩 4 体操教室やカラオケなど趣味の活動 5 町内会などの活動、ボランティア活動 6 通院 7 親族または友人・知人に会うため 8 その他() 	<p>《問7で「4 ほとんど外出しない」に <u>をつけて方におたずねします。》</u></p> <p>問7-1 <u>ほとんど外出しない理由は何ですか。(はいくつでも)</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 心や身体の都合で外出が困難である 2 付き添いあるいは介助してくれる人がいない 3 <u>買物や散歩などで外出したときに段差等がある</u> 4 <u>バスや電車などの利用にあたり、段差等があり利用しにくい</u> 5 外出する時に必要な福祉用具がない 6 出かけた場所がない 7 その他() 8 特にない <p>(新設)問9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問8の「外出の頻度」とクロス集計をすることにより、外出の多い方、少ない方の外出の目的を把握する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	
(問の変更)問10 ・ 介護予防の観点も含め、健康づくりや介護予防に関する設問に変更する。	
<p>問10 あなたが、現在、健康づくりや介護予防のために気をつけていることは、次のうちどれですか。(はいいくつでも)</p> <p>1 食事に気をつけている 2 体力を維持するための運動や散歩をしている 3 休養や睡眠に気をつけている 4 規則正しい生活をしている 5 定期的に健康診断を受けている 6 たばこは吸わない 7 お酒は飲まないか、飲みすぎないようにしている 8 掃除や洗濯、調理など自分でできることは自分でしている 9 町内会などの活動、ボランティア活動 10 その他() 11 特に気をつけている事はない</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(選択肢の変更)</p> <p>1 体操・スポーツ、ウォーキングなど体力を維持するための運動 2 栄養バランスのとれた食生活 3 歯磨きや入れ歯の手入れなど、口の中の健康を保つこと 4 休養や睡眠に気をつける 5 規則正しい生活を送る 6 禁煙 7 酒を飲まない、または飲みすぎないようにする 8 健康づくりや介護予防のための知識の習得 9 定期的に健康診断を受ける 10 掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする 11 近所付き合いや友人に会うなど積極的に人に会うこと 12 ボランティア活動やさまざまな行事等に参加する 13 その他() 14 特にない</p>	<p>問8 あなたは、健康に気を使っていますか。(はいいくつでも)</p> <p>1~5 略</p> <p>6 その他()</p> <p>7 特に気を使っていない</p>
(部会后 選択肢の変更)問10 ・ 健康づくりや介護予防に関して気をつけていることを把握するための選択肢に変更する。 ・ 保健サービスの利用意向等に関する設問(P29 問43)に変えて、健康づくり等に関する現状を把握するための選択肢に変更する。	

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加 下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問11 健康づくりや介護予防のために、あなたが今後取り組みたいこと、興味のあることは次のうちどれですか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体操・スポーツ、ウォーキングなど体力を維持するための運動 2 栄養バランスのとれた食生活 3 歯磨きや入れ歯の手入れなど、口の中の健康を保つこと 4 休養や睡眠に気をつける 5 規則正しい生活を送る 6 禁煙 7 酒を飲まない、または飲みすぎないようにする 8 健康づくりや介護予防のための知識の習得 9 定期的に健康診断を受ける 10 掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする 11 近所付き合いや友人に会うなど積極的に人に会うこと 12 ボランティア活動やさまざまな行事等に参加する 13 その他() 14 特にない 	<div data-bbox="1169 268 2089 576" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(部会后 新設) 問11</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりや介護予防に関して、今後の取り組みの意向を把握する設問を追加する。 ・保健サービスの利用意向等に関する設問(P29 問43)に変えて、今後の健康づくり等の取り組み意向を把握する設問に変更する。 </div> <p>《問8で「2体力を維持するための運動や散歩をしている」に <u>をつけた方におたずねします。</u>》</p> <p>問8-1 <u>どこで運動や散歩を行っていますか。またその頻度はどれくらいですか。(は(1)~(6)の実施状況欄にそれぞれひとつずつ)</u></p> <p>場所 (1)自宅 (2)近隣を散歩 (3)老人福祉センターや老人憩の家など (4)公園やグラウンド (5)スポーツセンターやプール、運動教室 (6)その他()</p> <p>実施状況 1.ほとんど毎日 2.週に1回以上 3.月に1~3回 4.行っていない</p>
<p>(枝問の削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回調査時、介護予防事業に参加しない特定高齢者の運動等による健康づくりの場所や頻度を把握するために追加。 ・前回結果では、「近隣を散歩」を除き、無回答が5割以上であり、結果を反映できていない。 ・各場所ごとの運動の頻度ではなく、外出の設問と関連して、外出の目的を把握する設問に変更する。(問9) 	

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 11 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。 (はひとつ) 1 ある 2 ない</p>	<p>(新設) 問 11 ・ 国が健康寿命を算出する際の質問項目 (国民生活基礎調査)、 大阪市の健康寿命算出の参考値とするため、把握する。</p>
<p>問 12 介護予防事業について、あなたの利用状況をお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 利用したことがある 2 知っているが利用したことはない 3 聞いたことはあるが、内容は知らないし、利用したこともない 4 聞いたことも利用したこともない</p>	<p>(部会后 問いの変更) 問 11 ・ 部会の意見等を踏まえ、問いを見直す。</p>
<p>問 12-1 介護予防事業について、あなたの利用意向をお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 今後利用したい 2 利用したくない 3 内容によっては利用したい</p>	<p>(部会后 新設) 問 12、12-1 ・ 保健サービスの利用意向等に関する設問 (前回調査の問 20) を削除するが、介護予防事業については、利用状況や利用意向を引き続き把握する。</p>
<p>問 13 あなたには、かかりつけの医師や歯科医師はおられますか。(はひとつ)</p> <p>1 かかりつけの医師も歯科医師もいる 2 かかりつけの医師はいる 3 かかりつけの歯科医師はいる 4 かかりつけの医師も歯科医師もいない</p>	<p>問 9 (略) 【かかりつけの医師・歯科医師の状況把握】</p>
<p>問 14 あなたご自身の歯 (根っこのある歯) は、どの程度ありますか。(はひとつ)</p> <p>1 20 本以上ある 2 10 本以上 19 本以下である 3 9 本以下である 4 全くない</p>	<p>問 10 (略) 【根っこのある歯の本数の把握】</p>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問15 あなたのかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。(はひとつ)</p> <p>1 何でもかんで食べることができる</p> <p>2 一部かめない食べ物がある</p> <p>3 かめない食べ物が多い</p> <p>4 かんで食べることはできない</p>	<p>問11 あなたは、食事をする際に何らかの支障がありますか。(はひとつ)</p> <p>1 支障がある 2 支障がない</p>
<p>問16 あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。(はひとつ)</p> <p>1 とても不安を感じる 2 多少不安を感じる</p> <p>3 不安は感じない 4 わからない</p> <p>問16-1 あなたが、不安に感じることはどのようなことですか。(はいくつでも)</p> <p>1 あなたや家族の健康のこと</p> <p>2 急に具合が悪くなったりしたときのこと</p> <p>3 日常の食事づくりやひとりで買い物など外出すること</p> <p>4 頼れる人がいなくなり一人きりの暮らしになること</p> <p>5 生活のための収入のこと</p> <p>6 土地や家屋など財産のこと</p> <p>7 預貯金などを管理すること</p> <p>8 人(近隣、親戚、友人、知人、仲間など)との付き合いのこと</p> <p>9 困りごとなど相談する相手がいないこと(場所がわからないこと)</p> <p>10 子どもや孫の将来のこと</p> <p>11 悪質商法の被害にあうこと</p> <p>12 自分自身が認知症になること</p> <p>13 火災や地震など災害のこと</p> <p>14 社会の仕組み(法律、社会保障など)が変わること</p> <p>15 その他()</p>	<p>問12 (略) 【高齢者が不安に感じることを把握】</p> <p>問12-1 (略)</p> <p>1~6 (略)</p> <p>7 <u>だまされたり、犯罪に巻き込まれたりすること</u></p> <p>8 火災や地震など災害のこと</p> <p>9 社会の仕組み(法律、社会保障など)が変わること</p> <p>10 その他()</p>
	<p>(問・選択肢の変更)問15</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の際の支障に関して、具体的に「かんで食べる」ことができるかの状態の把握とする。 ・ 咀嚼機能の向上を目標としており、指標として把握する。 <p>(選択肢の追加)問16-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし調査項目の精査と関連して、権利擁護に関して不安に感じることを追加。 ・ また、認知症に関する選択肢も追加。 <p>(部会后 選択肢の追加)問16-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし調査票の「不安に感じることを」の設問と統合するため、ひとり暮らし調査にあった選択肢を追加する(選択肢2、3、9を追加)。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問17 あなたは、現在収入を得られる仕事をしてますか。(はひとつ) 1 仕事をしている 2 仕事をしていない</p> <p>問18 あなたは、今後仕事をしたい(続けたい)と思えますか。(はひとつ) 1 仕事をしたい(続けたい) 2 仕事をしたくない(仕事をやめたい) 3 わからない</p> <p>問18-1 あなたが、仕事をしたい(続けたい)理由は何ですか。 (はいくつでも) 1 生きがいを得られるから 2 健康に良いから 3 友人ができるから 4 何もしないと退屈だから 5 家族が望むから 6 小遣いが欲しいから 7 生活費が必要だから 8 その他()</p>	<p>問13 (略) 【高齢者の就労状況の把握】</p> <p>問14 (略) 【今後の就労意向・意欲の把握】</p> <p>問14-1 (略) 【就労継続をしている方の実態を把握】</p>
<p>問19 あなたは、ご近所付き合いをどの程度していますか。(はひとつ) 1 互いの家をよく行き来するくらい 2 とときどき行き来するくらい 3 会った時に世間話をするくらい 4 あいさつ程度 5 ほとんどない</p> <p>問19-1 付き合いがほとんどない理由は何ですか。(はいくつでも) 1 仕事や家事で忙しく時間が無い 2 引越してきて間もない 3 ご近所と付き合いきっかけや機会が無い 4 気の合う人、話の合う人が近くにいない 5 同世代の人が近くにいない 6 あまり関わり合いをもちたくない 7 その他() 8 特に理由はない</p>	<div data-bbox="1169 983 2092 1337" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>(新設)問19、19-1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり暮らし調査項目の精査と関連して、高齢者の孤立化防止等に重要となる、近隣との付き合いの程度の実態を把握する。(問19) ・ また、近所付き合いがない方には、その理由について、実態を把握する。(問19-1) </div>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問20 あなたが、現在、継続的に参加している地域の団体や集まりはありますか。(はいくつでも)</p> <p>1 町会、自治会、女性会等の地域団体 2 趣味のサークル・団体</p> <p>3 健康づくり・介護予防サークル・団体 4 老人クラブ</p> <p>5 退職者の組織(OB会等)</p> <p>6 ボランティア団体(社会奉仕団体)</p> <p>7 NPO等の市民活動団体 8 生涯学習のサークル・団体</p> <p>9 商工会・同業者団体</p> <p>10 シルバー人材センター等の就業組織 11 スポーツのサークル・団体</p> <p>12 その他() 13 参加していない</p>	<p>(新設)問20、20-1、20-2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし調査項目の精査と関連して、地域における社会活動等への参加状況を把握する設問として追加。(問20) ・参加している方には、地域活動への参画支援のため、活動に参加することになったきっかけ等を把握する。(問20-1) ・また、参加していない方には、参加していない理由等の実態を把握する。(問20-2)
<p>問20-1 あなたが、参加するようになったきっかけは何ですか。(はいくつでも)</p> <p>1 友人・知人に誘われたから 2 活動場所が近所にあった</p> <p>3 内容が楽しそうだった 4 健康のため</p> <p>5 団体の中に自分の役割があるから 6 生きがいを得たかった</p> <p>7 地域や社会に貢献したかった 8 人との関わりを持ちたかった</p> <p>9 自分の能力を活かすことができる 10 その他()</p>	<p>(部会后 問いの文言の変更)問20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域団体の参加状況のみではなく、社会参加の状況についての問いであるため、問20の問い中、「地域の」の文言を削除する。
<p>問20-2 あなたが、参加していない理由は何ですか。(はいくつでも)</p> <p>1 時間がない 2 心身上の理由がある</p> <p>3 興味をひくものがない 4 一緒に活動する仲間がいない</p> <p>5 内容がよくわからない 6 参加の仕方がわからない</p> <p>7 費用がかかる 8 その他()</p> <p>9 特に理由はない</p>	

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 21 だれもが地域で安心して自分らしく暮らしていくためには、住民や行政をはじめ、地域にかかわるすべての人が力を合わせて、共に生き共に支え合い、みんなが生活をともに楽しむ地域を作り上げていく必要があります。今後、少子高齢化が進んでいく中、地域社会を支える担い手として、高齢者のより一層の活躍が期待されますが、あなたが、地域社会に貢献できるとお考えの活動はどのようなことですか。(はいいくつでも)</p> <p>1 仕事・働くこと 2 ボランティア活動 3 NPO等の市民活動 4 地域の自治活動 5 地域の防災・防犯などの活動 6 区役所が主催する活動 7 青少年や子どもたちを支援する活動 8 地域の活動・団体等への金銭的援助 9 その他() 10 特にない</p>	<p>(新設) 問 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会における公共以外の担い手に関して、高齢者が、今後、地域社会の中でどのような地域貢献をされたい(またはできる)と考えているか等の状況を把握する。 ・ 元気な高齢者の活動意向等についての実態を把握する。
<p>問 22 高齢者など援護を必要とする方には、日常的な見守りや声かけなど、地域とのつながり、お互いに支え合う関係づくりが必要と考えますが、次の活動のうち、あなたが直接関わっていなくても知っている範囲で、現在あなたの地域で行われている見守りに関する取り組みはありますか。(はいいくつでも)</p> <p>1 地域ネットワーク委員・推進員による見守り・支援活動 2 地域における福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)による、区ごとの新たな見守り・支援活動の取り組み 3 地域住民による友愛訪問、見守り訪問、声かけ運動などの高齢者の安否確認等の取り組み 4 弁当の配食時に安否確認を行う取り組み 5 集会所等で会食会を催し地域交流を深める取り組み (例：ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン) 6 定期的に電話で安否確認を行う取り組み 7 健康づくりや介護予防に関する催し 8 近所の人と声を掛け合うこと 9 新聞や牛乳配達時の安否確認 10 地域でどんな活動を行っているのか知らない 11 その他()</p>	<p>(新設) 問 22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の事業の再構築と関連して、現状の地域における見守り活動の状況・実態を把握する。 <p>(部会后 選択肢変更) 問 22</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内部における見直しにより、選択肢の文言を一部追加・変更する。(選択肢 1、2、3 を変更) ・ コーディネーターについて括弧書きの説明を追加する。(選択肢 2)

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目																								
<p>問23 近隣による支え合いや助け合いなどによる支援について、ご近所の方がお困りのとき、あなたがお手伝いできることはありますか。(はいいくつでも)</p> <table border="0"><tr><td>1 安否確認の見守りや声かけ</td><td>4 食事のおすそ分け</td></tr><tr><td>2 ちょっとした買い物の手伝い</td><td>6 話し相手、相談相手</td></tr><tr><td>3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い</td><td>8 災害時の手助け</td></tr><tr><td>5 ゴミ出し</td><td>10 特にない</td></tr><tr><td>7 外出や通院の付き添い</td><td></td></tr><tr><td>9 その他()</td><td></td></tr></table> <p>問24 あなたがお困りのとき(今後、お困りになったとき)に、地域の人に手助けをしてほしいことはありますか。(はいいくつでも)</p> <table border="0"><tr><td>1 安否確認の見守りや声かけ</td><td>4 食事のおすそ分け</td></tr><tr><td>2 ちょっとした買い物の手伝い</td><td>6 話し相手、相談相手</td></tr><tr><td>3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い</td><td>8 災害時の手助け</td></tr><tr><td>5 ゴミ出し</td><td>10 特にない</td></tr><tr><td>7 外出や通院の付き添い</td><td></td></tr><tr><td>9 その他()</td><td></td></tr></table>	1 安否確認の見守りや声かけ	4 食事のおすそ分け	2 ちょっとした買い物の手伝い	6 話し相手、相談相手	3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	8 災害時の手助け	5 ゴミ出し	10 特にない	7 外出や通院の付き添い		9 その他()		1 安否確認の見守りや声かけ	4 食事のおすそ分け	2 ちょっとした買い物の手伝い	6 話し相手、相談相手	3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	8 災害時の手助け	5 ゴミ出し	10 特にない	7 外出や通院の付き添い		9 その他()		<p>(新規)問23、問24</p> <ul style="list-style-type: none">・ひとり暮らし調査項目の精査と関連して、広く地域の支援の状況について問う設問として設定。・地域の助け合いにより行われる「互助」の取り組みについて、近隣における関係の中で、どのような支援、支え合いが可能かを把握する。(問23)・あわせて、近隣からどのような支援を受けたいか、地域の手によるインフォーマルサービスのニーズを把握する。(問24)
1 安否確認の見守りや声かけ	4 食事のおすそ分け																								
2 ちょっとした買い物の手伝い	6 話し相手、相談相手																								
3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	8 災害時の手助け																								
5 ゴミ出し	10 特にない																								
7 外出や通院の付き添い																									
9 その他()																									
1 安否確認の見守りや声かけ	4 食事のおすそ分け																								
2 ちょっとした買い物の手伝い	6 話し相手、相談相手																								
3 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	8 災害時の手助け																								
5 ゴミ出し	10 特にない																								
7 外出や通院の付き添い																									
9 その他()																									

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加 下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 25 あなたにとっての楽しみや生きがいはどのようなことですか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none">友人・知人とのつきあいなど配偶者や子、孫など家族と過ごしたりすること3 旅行やドライブ園芸や音楽鑑賞などの趣味活動運動・スポーツ老人クラブ活動生涯学習や教養などを身につけること町会、自治会、女性会等の地域団体の活動社会奉仕、ボランティア活動10 仕事・働くことパソコンやインターネット、携帯電話12 テレビを見たり、ラジオを聞いたりすることその他 ()特にない	<p>(選択肢の削除) 問 25</p> <ul style="list-style-type: none">・ 選択肢を絞ることにより、趣味活動や地位活動、ボランティア活動等のうち、高齢者が生きがいや楽しみと感ずることを把握。・ 「10 仕事・働くこと」は、問 20、問 20-1 と重複するため削除。 <p>問 15 (略)</p> <ol style="list-style-type: none">1 ~ 2 (略)<u>3 旅行やドライブ</u>4 ~ 9 (略)<u>10 仕事・働くこと</u>11 (略)<u>12 テレビを見たり、ラジオを聞(き)いたりすること</u>13 その他 ()14 特にない <p>(部会后 選択肢の追加) 問 25</p> <ul style="list-style-type: none">・ 部会における意見等を踏まえ、高齢者の楽しみや生きがい全般の把握のため、また、前回調査結果との比較のため、前回と同様の選択肢とする (選択肢 3、10、12 を追加) 。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問26 特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の整備についておたずねします。特別養護老人ホームの整備が進めば、介護保険料が高くなりますが、あなたは、今後の整備についてどう思われますか。(はひとつ)</p> <p>1 介護保険料が高くなっても、今後も特別養護老人ホームの増設が必要と思う</p> <p>2 介護保険料が高くなるのは困るが、ある程度の増設は必要と思う</p> <p>3 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う</p> <p>4 わからない</p> <p>問27 あなたは、特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)に入所することになった場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。(はひとつ)</p> <p>1 従来型特別養護老人ホーム 4人部屋を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄等の日常生活において必要な介護を提供します。</p> <p>2 ユニット型特別養護老人ホーム すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。</p> <p>3 どちらでもよい</p>	<p>(新設)問26、問27</p> <ul style="list-style-type: none">特別養護老人ホームにかかるサービス供給量と利用者負担について、高齢者のニーズを把握し、今後の施設整備の参考とする。(問26)特別養護老人ホームの次期計画における整備方針(従来型・ユニット型など)を決定するにあたり、高齢者のニーズを把握する。(問27)

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問28 あなたは、介護や援護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(はひとつ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の住宅に住み続けたい 2 段差の解消や手すりの設置をしていたり、緊急時対応の職員がいたりする等、高齢者が安全・安心に暮らす対応がされた住宅に入居したい 3 介護付有料老人ホームやケアハウス、認知症高齢者グループホームなどに入居したい 4 特別養護老人ホームなどの施設に入所したい 5 その他() 6 わからない <p>問29 あなたは、どのような支援が身近にあれば、自宅での生活を続けていけると思われますか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 毎日の食事の準備・後片づけや掃除・洗濯など家事を手伝ってもらえること 2 入浴やトイレなどを介助してもらえること 3 病院まで送り迎えしてもらえること 4 自宅に来てくれる医師や歯科医師、看護師などの専門職がいること 5 住宅を改修するための支援を受けられること 6 必要なときに施設に宿泊できること 7 地域での見守り、隣近所の人声かけができていること 8 在宅での医療や介護サービスなどの24時間支援体制ができていること 9 その他() 	<p>問17 (略) 【介護や援護が必要な際の暮らし方の希望】</p> <p>問18 (略) 【在宅生活継続のために必要な支援の把握】</p>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目																																																
<p>問 30 次の項目のそれぞれについて「とてもそう思う」から「まったくそう思わない」までの5段階のうち、あなたの気持ちにもっとも近いものを選んでください。(はひとつ)</p> <p>1 まったくそう思わない 2 あまりそう思わない 3 どちらともいえない 4 まあそう思う 5 とてもそう思う</p> <table border="1"> <tr><td>(1)今の暮らしには張り合いがある</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(2)今の暮らしにはストレスが多い</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(2)生活は充実している</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(3)趣味をしている時間は楽しい</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(4)友人との関係に満足している</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(5)近所づきあいに満足している</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(6)自分は頼りにされていると思う</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>(7)今の暮らしにはストレスが多い</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> </table>	(1)今の暮らしには張り合いがある	1	2	3	4	5	(2)今の暮らしにはストレスが多い	1	2	3	4	5	(2)生活は充実している	1	2	3	4	5	(3)趣味をしている時間は楽しい	1	2	3	4	5	(4)友人との関係に満足している	1	2	3	4	5	(5)近所づきあいに満足している	1	2	3	4	5	(6)自分は頼りにされていると思う	1	2	3	4	5	(7)今の暮らしにはストレスが多い	1	2	3	4	5	<div data-bbox="1205 300 2078 459" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(新設) 問 30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の日々の生活・暮らし等に関する満足度等の実態を把握する。 </div> <div data-bbox="1182 762 2063 967" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(部会后 設問項目の順番を変更) 問 30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「(2)今の暮らしにはストレスが多い」が他の設問と逆の意味合いとなっているため、他の設問と順番を変更する。 ((2)の位置を(7)の位置に変更) </div>
(1)今の暮らしには張り合いがある	1	2	3	4	5																																												
(2)今の暮らしにはストレスが多い	1	2	3	4	5																																												
(2)生活は充実している	1	2	3	4	5																																												
(3)趣味をしている時間は楽しい	1	2	3	4	5																																												
(4)友人との関係に満足している	1	2	3	4	5																																												
(5)近所づきあいに満足している	1	2	3	4	5																																												
(6)自分は頼りにされていると思う	1	2	3	4	5																																												
(7)今の暮らしにはストレスが多い	1	2	3	4	5																																												

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問31 あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)を利用したことがありますか。(はひとつ)</p> <p>1 利用したことがある(知っている)</p> <p>2 知っているが、利用したことはない</p> <p>3 聞いたことはあるが、何をするとところかわからない</p> <p>4 聞いたことがない(知らない)</p> <p>問31-1 あなたは、地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)をどのようにして知りましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。(はひとつ)</p> <p>1 区役所・区保健福祉センターから聞いた</p> <p>2 介護支援専門員(ケアマネジャー)・ホームヘルパー・施設職員などから聞いた</p> <p>3 かかりつけ医や病院など医療機関から聞いた</p> <p>4 民生委員・町会等の地域役員から聞いた</p> <p>5 家族・友人、知人から聞いた</p> <p>6 パンフレットや資料から知った</p> <p>7 その他()</p>	<p>問21 <u>地域包括支援センター・総合相談窓口(ランチ)についておたずねします。あなたは、これまでにお困りごとで地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ)に相談したことがありますか。</u></p> <p><u>【地域包括支援センター】(はひとつ)</u></p> <p>1 <u>自分自身や家族のことで相談したことがある</u></p> <p>2 <u>友人あるいは近隣の方のことで相談したことがある</u></p> <p>3 <u>ケアプランを作成してもらっている</u></p> <p>4 <u>これまで一度も相談したことはないが、どこにあって何をしているところかは知っている</u></p> <p>5 <u>これまで一度も相談したことはなく、何をしているところかも知らないが、どこにあるかは知っている</u></p> <p>6 <u>これまで一度も相談したことはなく、どこにあるのかも知らないが、何をしているところかは知っている</u></p> <p>7 <u>これまで一度も相談したことはなく、どこにあるのかも、何をしているところかも知らない</u></p> <p><u>【総合相談窓口(ランチ)】(はひとつ)</u></p> <p><u>選択肢は地域包括支援センターと同じ</u></p>

(問・選択肢の変更)問31、31-1

- 地域包括とランチの設問について、1つの問の中に、利用目的と認知度という2つの選択肢があり、回答しやすくするため、問と設問を変更する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目															
<p>問 31-2 あなたは、どのような目的で、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用（相談）しましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。（ はひとつ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 介護や日常生活の困りごと (介護保険制度について、家族の介護など) 物忘れ、認知症について 高齢者虐待について 介護予防ケアプランについて (要支援 1、要支援 2 の認定になった) 二次予防事業対象者（はつらつシニア）について 保健、医療サービスや制度について 一緒に活動したことがある（研修、高齢者のかたの見守り活動など） その他（ ） 	<p>(問・選択肢の変更) 問 31-2、31-3</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括とランチの設問について、1つの問の中に、利用目的と認知度という2つの選択肢があり、回答しやすくするため、問と設問を変更する。 実際に利用された方がどのような目的で利用し、その際の満足度を把握することにより、今後の効果的な啓発につなげる。 (問 31-2、31-3) 															
<p>問 31-3 あなたが、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用した満足度は次のどれにあてはまりますか。（ はひとつ）</p> <ol style="list-style-type: none"> 満足している どちらかといえば満足 どちらかといえば不満 不満 <p>(部会后 問・選択肢レイアウトの変更) 問 31-2、31-3</p> <ul style="list-style-type: none"> 部会の意見等をふまえ、利用目的と利用の際の満足度について、連動した回答を得ることができるよう、設問のレイアウトを変更する。 (問 31-2、31-3 のレイアウト変更 本人調査票 (案) P17) 	<p>【問31で「1 利用したことがある(知っている)」とお答えの方におうかがいします。】</p> <p>問31-2 あなたが、地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)を利用(相談)された目的について、お答えください。(はいくつでも)</p> <p>問31-3 利用(相談)された時の満足度(対応や相談結果など総合的に)について、お答えください。(右側の満足度欄の「1~4」にそれぞれ はひとつ)----</p> <p>↓</p> <p>満足度欄(利用された内容ごとに、はひとつ)</p> <p>下の1~8について、利用された内容の数字に をつけてください(はいくつでも)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足</th> <th>どちらか といえば満足</th> <th>どちらか といえば不満</th> <th>不満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 介護や日常生活の困りごと (介護保険制度、家族の介護など)</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2 物忘れ、認知症について</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	不満	1 介護や日常生活の困りごと (介護保険制度、家族の介護など)	1	2	3	4	2 物忘れ、認知症について	1	2	3	4
	満足	どちらか といえば満足	どちらか といえば不満	不満												
1 介護や日常生活の困りごと (介護保険制度、家族の介護など)	1	2	3	4												
2 物忘れ、認知症について	1	2	3	4												

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加 下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問32 あなたは、あなた又はあなたの周囲の高齢者が「高齢者虐待」を受けた場合の通報・相談先をご存じですか。(はひとつ)</p> <p>1 知っていた</p> <p>2 知らなかった</p> <p>！ひとこと！</p> <p>「高齢者虐待」の通報・相談窓口は各区保健福祉センター及び地域包括支援センターです</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(問・選択肢の変更) 問32</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待を受けたことの把握ではなく、虐待を受けた、又は見かけた際の通報先の周知をかねた問と選択肢を変更する。 ・高齢者虐待の内容(どのようなものが虐待に該当するか)は、別紙の説明書を見てもらうようにする。 </div> <p>問33 あなたは「認知症」という病気を知っていますか。(はひとつ)</p> <p>1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる</p> <p>2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない</p> <p>3 わからない</p>	<p>問22 あなたは、下の□内の行為を受けたことがありますか、また「65歳以上の親戚、知人が受けた」と聞いたことがありますか。(はいいくつでも)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・つねる、叩く、蹴る、殴るなど身体に暴力を加える ・怒鳴る、悪口を言う、話しかけても無視をする ・食事や入浴、排泄の世話を十分にしてくれない ・本人に無断で本人の年金などを使ってしまう、自由になるお金を持たせてくれない ・性的な行為を強要する </div> <p>1 あなたご自身が受けたことがある</p> <p>2 「65歳以上の親戚、知人が受けた」と聞いたことがある</p> <p>3 受けたことも聞いたこともない</p> <p><u>これらの行為は「高齢者虐待」です。身近にこのようなことを見聞きされた場合は各区保健福祉センターや地域包括支援センターにご相談ください。</u></p> <p>問23 (略) 【認知症という病気についての認知度の把握】</p>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加 下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 34 あなたが、かかりつけ医等の医療機関を受診(診療科を問わない)している中で、認知症について相談をされたことはありますか。(はひとつ)</p> <p>1 かかりつけ医に相談している(相談したことがある)</p> <p>2 専門の医療機関(精神科・神経内科等)に相談している(相談したことがある)</p> <p>3 相談したことはない</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>問 34 あなたは、あなた又はあなたの家族が認知症について不安を感じる時は、どちらに相談されますか。(はいくつでも)</p> <p>1 かかりつけ医</p> <p>2 地域の精神科・神経内科等の医療機関</p> <p>3 認知症疾患医療センター(大阪市立大学医学部附属病院、ほくとクリニック病院、大阪市立弘済院附属病院)</p> <p>4 民生委員・町会等の地域役員</p> <p>5 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者</p> <p>6 地域包括支援センターまたは総合相談窓口(ランチ)</p> <p>7 区役所・保健福祉センター</p> <p>8 その他()</p> <p>9 どこに相談すればいいかわからない</p> <p>！ひとこと！</p> <p>認知症は、早期発見によるケアにより病気の進行を遅らせることができることもあるなど、早期に医療機関を受診することが大切です</p>	<p>問 24 あなた(あて名ご本人)やあなたのご家族で、医療機関で認知症と診断を受けられた方(認知症ではないかと医療機関にかかっている方(かた)を含む)はいらっしゃいますか。(はひとつ)</p> <p>1 いる(本人 ・ 家族)</p> <p>2 いない</p> <p>3 わからない</p> <div data-bbox="1211 523 2067 691" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(問・選択肢の変更)問 34</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症施策においてかかりつけ医による早期対応を進めており、かかりつけ医への相談状況を把握する設問に変更。 </div> <div data-bbox="1189 762 2067 970" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(部会后 問・選択肢の変更) 問 34</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ医を含め、認知症の早期対応に関わる多職種に関して、実際の相談先について把握する設問にする。 <p>(問 34 全体を変更)</p> </div>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加 下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問35 あなたは、認知症の人の支援に必要なことは何だと思えますか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none">1 認知症に関する相談窓口の充実2 認知症の予防や早期発見への取り組み3 病院やかかりつけ医における、認知症に関する医療サービスの充実4 家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること5 介護職員が行う認知症ケアの質の向上6 認知症患者を持つ家族に対する支援7 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実8 その他()9 わからない <div data-bbox="219 751 1070 948" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>(問・選択肢の変更) 問35</p><ul style="list-style-type: none">・ 認知症に関する不安に思うことの把握に変えて、今後の認知症政策の検討にあたり、高齢者自身がどのような支援を必要をしているかを問う設問に変更する。</div> <div data-bbox="219 986 1070 1145" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>(部会后 選択肢の変更) 問35</p><ul style="list-style-type: none">・ 認知症予防に関しては、認知症の人への支援の内容とは捉えにくいいため、選択肢2のうち、「認知症予防」を削除する。</div>	<p>問25 認知症に関して不安に思ったり悩んだりすることはありますか。また、どのようなことで不安に思ったり悩んだりしましたか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none">1 <u>不安に思ったり悩んだりしたことはない</u>2 <u>以前に比べ、もの忘れが多くなったこと</u>3 <u>家事が思うようにできなくなったり、外出時に迷うなど、普段の生活に関すること</u>4 <u>うつ症状や意欲の低下、妄想など、精神症状に関すること</u>5 <u>徘徊や暴言、暴力、異食(食べ物でないものを口に入れる)など、行動に関すること</u>6 <u>今後の認知症の病状に関すること</u>7 <u>仕事に関すること</u>8 <u>近所などとの人付き合いに関すること</u>9 <u>認知症の方に対する接し方や介護に関すること</u>10 <u>家族内の人間関係や、子どもや孫の将来に関すること</u>11 <u>医療機関の受診に関すること</u>12 <u>介護保険の制度や手続きの方法、相談先が分からないこと</u>13 <u>認知症の症状にあったサービスがないこと</u>14 <u>その他()</u>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 36 あなたは、孤立死についてどのように考えますか。(はひとつ)</p> <ul style="list-style-type: none">1 とても身近に感じる2 やや身近に感じる3 あまり身近に感じない3 まったく身近に感じない4 わからない <p>問 36-1 あなたが身近だと思う理由は次のどれにあたりますか。(はいくつでも)</p> <ul style="list-style-type: none">1 親族との付き合いが少ないから2 近所との付き合いが少ないから3 友人との付き合いが少ないから4 あまり外出しないから5 病気がちで、健康に不安があるから6 特に理由はない7 その他 ()	<p>(新設) 問 36、36-1</p> <ul style="list-style-type: none">・ 核家族化、単身世帯の増加等により孤立化のリスクが高まっているため、孤立死に関する高齢者の考え方を把握する。・ 孤立化の防止のために、高齢者自身が身近な問題だと思いう理由を把握する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問37 あなたは「孤立死」を防ぐために、どのような方法(支援)が必要(有効)と思いますか。(はいいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none">1 緊急時にボタンを押すだけで自動的に通報され助けが来るサービス (例：大阪市緊急通報サービス、民間会社が行う見守りサービス)2 健康相談に看護師等が24時間対応してくれるサービス3 弁当の配食時に安否確認を行うサービス4 集会所などで会食会を催し、地域交流を深めるサービス (例：ふれあい食事サービス、ふれあい喫茶、いきいきサロン)5 定期的に電話で安否確認を行うサービス6 ごみの引き取り時に異常があれば緊急連絡先に通報するサービス7 福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役)の配置や、友愛訪問、見守り訪問、声かけ活動など高齢者の安否確認等の取り組み8 介護保険サービスなどの利用9 健康づくりや介護予防の利用10 友人や知人とのつながり11 近所の人と声を掛け合うこと12 電気、ガス、水道の利用情報を利用した安否確認13 新聞や牛乳配達時の安否確認14 その他()	<p>(新設)問37</p> <ul style="list-style-type: none">・ 核家族化、単身世帯の増加等により孤立化のリスクが高まっている。孤立死に関する高齢者の考え方を把握する。・ 孤立化の防止のために、高齢者自身が必要と考えるサービス、支援の内容等について把握する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問 38 あなたは、災害時や緊急時に一人で避難することができますか(はひとつ)</p> <p>1 避難できる 2 一人で判断できるが、避難はできない</p> <p>3 一人では判断できないし、避難もできない</p> <p>4 わからない</p> <p>問 38-1 災害時や緊急時に、手助けを頼める人(同居者を含む)はいますか。(はひとつ)</p> <p>1 常時いる 2 時間帯によってはいる</p> <p>3 いない 4 わからない</p> <p>問 39 あなたは、災害が起きた時の心配事がありますか。(はいくつでも)</p> <p>1 避難情報がわからない 2 避難所が遠い</p> <p>3 浸水の恐れなどがある 4 家が古い</p> <p>5 同居の家族が動けない 6 一人で避難できない</p> <p>7 その他() 8 わからない</p>	<div data-bbox="1205 256 2072 568" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(新設) 問 38、38-1、問 39</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 災害弱者となる可能性のある高齢者自身が、災害等が起こった際の避難困難者の状況を把握する。(問 38、38-1) ・ 災害が起こった際の心配事を把握し、今後の災害支援策等の検討材料とする。(問 39) </div>
<p>問 40 あなたは、市が保有する高齢者の個人情報(氏名・住所等)を、町会や地域活動協議会など地域の見守り活動を行う組織に提供することについて、どのように感じますか。(はひとつ)</p> <p>1 積極的に個人情報を提供すべき</p> <p>2 災害時への備えのため、個人情報を提供してもよい</p> <p>3 災害時のみならず、平常時から見守り等が必要な方を手助けするためであれば、個人情報を提供してもよい</p> <p>4 個人情報は提供しない方がよい 5 わからない</p>	<div data-bbox="1193 1066 2072 1238" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(新設) 問 40</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見守りが必要な方の情報を地域の団体等に対して提供することについて、高齢者自身の考え方を把握する。 </div>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問41 あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同居の家族 2 別居している親族 3 友人・知人・近所の人 4 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている組織の団体 5 区社会福祉協議会 6 民生委員 7 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 8 区役所・保健福祉センター 9 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 10 病院・かかりつけの医師 11 お住まいの住宅の生活相談員 12 地域で相談するところはない 13 以前はあったが、今はない 12 区によって新たに配置された福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 13 地域ネットワーク委員・推進員 14 地域で相談するところはない 15 わからない 16 その他() 	<p>ここからの質問は、認知症に関すること以外も含まれます。</p> <p>問26 あなたは、困ったときにどちらに相談されますか。(はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 同居の家族 2 別居している親族 3 友人・知人・近所の人 4 町会・自治会等の役員や<u>地域ネットワーク委員・推進員</u>など 5 民生委員 6 介護支援専門員(ケアマネジャー) やホームヘルパーなどの介護保険事業者 7 区役所・保健福祉センター 8 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 9 <u>大阪市社会福祉研修・情報センター</u> 10 病院・かかりつけの医師 11 <u>認知症支え合いコールセンター</u> 12 <u>認知症疾患医療センター (大阪市立大学医学部附属病院、ほくとクリニック病院、大阪市立弘済院附属病院)</u> 13 <u>大阪市立弘済院 (総合相談室)</u> 14 介護家族の会 15 その他() 16 特にな
<p>(選択肢の削除・変更)問41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業廃止等となったものについて選択肢を削除する ・ 再構築となった事業について、選択肢を変更するとともに、事業の影響を把握するための選択肢を追加する。 	<p>(部会后 選択肢の変更)問41</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス付き高齢者向け住宅等に住んでいる方の選択肢を追加する(選択肢11を追加) ・ 事務局内の見直しにより、選択肢の文言を一部追加・変更する(選択肢12、13を変更)

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問42、問43は、高齢者の方を対象とした施設や事業、福祉サービス、保健サービス等です。対象者が限定されるサービスなどもありますが、知らない施設やサービスなどがありましたら、「別紙」をご参照ください。</p> <p>問42 次の施設や事業について、あなたの利用状況や以降をお答えください。 (は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>利用(参加)状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用したことがある 2 知っているが利用したことはない 3 知らない <p>利用(参加)意向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい <p>(1)老人福祉センター (2)老人憩の家 (福祉会館などの名称の地域もあります) 36頁以降の「老人憩の家の利用者に関する調査票」についてもご記入願います。</p> <p>(3)シルバー人材センター (4)生涯学習センターの高齢者向け講座 (5)生涯学習ルーム事業 (6)市立文化施設等敬老優待 (7)敬老優待乗車証 (8)高齢者入浴利用料割引事業 (9)スポーツ施設の高齢者割引</p>	<p>(追記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種事業・サービス等の周知を兼ねるため、「各施設・事業」、「福祉サービス」、「保健サービス」等を連続の設問とし、事業等知らない方には、別紙説明書を見るよう啓発する。 <p>問16 次の施設や事業についておたずねします。 (は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>利用(参加)状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用したことがある 2 知っているが利用したことはない 3 知らない <p>利用(参加)意向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい <p>(1)~(3) (略) (4)大阪市社会福祉研修・情報センター (5)いきいきエイジングセンター (6)高齢者大学「いちよう大学」 (7)~(11) (略)</p> <p>(選択項目の削除・文言の追加)問42</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業廃止、見直し、事業名称の変更予定のため項目を削除。 ・ 再構築となった事業について、別途、同時に調査を実施する。 (老人憩の家利用者に対し、別途調査への協力依頼文章を追加)

(部会后 注釈追加)

・ 老人憩の家は、地域によって名称が異なるため、注釈を追加する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目				
<p>問 43 次の福祉サービス、制度について、あなたの利用状況や意向をお答えください。(は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>利用状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない <p>利用意向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今後利用したい 2 利用したくない 3 サービス内容によっては利用したい <p>(1) 食事の配食サービス(大阪市生活支援型食事サービス)</p> <p>(2) 食事の会食サービス(ふれあい型食事サービス)</p> <p>別紙「食事の会食サービスの利用者に関する調査票」についてもご記入願います。</p> <p>(3) 日常生活用具給付事業</p> <p>(4) 緊急通報システム</p> <p>(5) ごみの持ち出しサービス</p> <p>(6) あんしんサポート事業(日常生活自立支援事業)</p> <p>(7) 成年後見制度</p>	<p>問 19 あなたは、次の福祉サービスを利用していますか、<u>また利用(りよう)している場合は満足していますか。</u>(はそれぞれひとつずつ)</p> <p>利用状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 利用したことがある(している) 2 知っているが利用していない 3 知らない <p><u>満足度(「1 利用している」に つけた方のみ回答してください)</u></p> <table border="0"> <tr> <td>1 満足</td> <td>2 どちらかといえば満足</td> </tr> <tr> <td>3 どちらかといえば不満</td> <td>4 不満</td> </tr> </table> <p>(1) 食事の配食サービス</p> <p>(2) 食事の会食サービス</p> <p>(3) 寝具洗濯乾燥消毒サービス</p> <p>(4) 緊急通報システム</p> <p>(5) ごみの持ち出しサービス</p> <p><u>(6) 介護用品支給事業</u></p> <p><u>(7) 訪問理美容サービス</u></p>	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 どちらかといえば不満	4 不満
1 満足	2 どちらかといえば満足				
3 どちらかといえば不満	4 不満				

(問の変更) 問 43

- ・ 満足度ではなく、利用の意向を確認することにより、今後の事業・制度について検討する。

(項目の追加・削除) 問 43

- ・ 食事サービスについて区別をするため、(括弧)内の文言を追加。
- ・ 利用者が限定されるなどの事業については、削除を行う。
- ・ 再構築となった事業について、別途、同時の調査を実施する。
- ・ ひとり暮らし調査項目の精査と関連して、制度の認知度等を把握する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 43 次の保健サービスについて、あなたの利用状況や意向をお答えください。 (一 は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>一 利用(受診)状況</p> <p>1 利用(受診)したことがある(している)</p> <p>2 知っているが、利用(受診)したことはない</p> <p>3 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らないし、利用したこともない</p> <p>4 聞いたことも、利用したこともない</p> <p>二 利用(受診)意向</p> <p>1 今後利用したい</p> <p>2 利用したくない</p> <p>3 サービス内容によっては利用したい</p> <p>(1)健康教育</p> <p>(2)健康相談</p> <p>(3)がん検診</p> <p>(4)訪問による保健指導</p> <p>(5)精神保健福祉相談</p> <p>(6)介護予防事業</p> <p>(7)特定健診または後期高齢者医療健康診査</p> <div data-bbox="136 1098 1108 1406" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(部会后 問 43 の削除)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問いを絞り込むため、健康づくりや介護予防に関する現状の認識や今後の取り組み意向に関する設問に変更する。 (部会后に見直しまたは追加した設問 P 6、7 問 10、11) ・ 介護予防事業に関しては、継続して利用意向等を把握する。 (部会后に見直しまたは追加した設問 P 8 問 12) </div>	<p>問 20 次の保健サービスについておたずねします。 (は状況・意向欄にそれぞれひとつずつ)</p> <p>利用(受診)状況</p> <p>1 利用(受診)したことがある(している)</p> <p>2 知っているが、利用(受診)したことはない</p> <p>3 言葉は聞いたことがあるが、内容は知らないし、利用したこともない</p> <p>4 聞いたことも、利用したこともない</p> <p>利用(受診)意向</p> <p>1 今後利用したい</p> <p>2 利用したくない</p> <p>3 サービス内容によっては利用したい</p> <p>(1)健康教育</p> <p>(2)健康(医療)相談</p> <p>(3)がん検診</p> <p>(4)訪問による保健指導</p> <p>(5)老人精神保健福祉相談</p> <p>(6)生活機能評価</p> <p>(7)介護予防事業</p> <div data-bbox="1272 1098 2114 1305" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(項目の追加・削除、変更) 問 43</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 制度変更による文言修正等 ・ 健康状態を把握すること健診制度の認知度を把握するための項目を追加。 </div>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>問 44 あなたは、高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか。 (はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「区政だより」や「くらしの便利帳」など広報誌 2 市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど 3 新聞・テレビ・ラジオなど 4 家族・友人・知人など 5 町会・自治会・地域活動協議会、地域社会福祉協議会など、地域で見守り活動を行っている団体 6 区社会福祉協議会 7 民生委員 8 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 9 区役所・保健福祉センター 10 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 11 老人福祉センター 12 区によって新たに配置された福祉のコーディネーター(地域福祉活動などの調整役) 13 地域ネットワーク委員・推進員 14 その他() 15 特にない 	<p>問 27 あなたは、高齢者向けのサービスなどの情報をどこから得ていますか。 (はいくつでも)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「市政だより」や「くらしの便利帳」など市の広報誌 2 市のホームページ(インターネット)、メールマガジンなど 3 新聞・テレビ・ラジオなど 4 家族・友人・知人など <u>5 町会・自治会・地域ネットワーク委員会など</u> 6 民生委員 7 介護支援専門員(ケアマネジャー)やホームヘルパーなどの介護保険事業者 8 区役所・保健福祉センター 9 地域包括支援センターや総合相談窓口(ランチ) 10 大阪市社会福祉研修・情報センター 11 老人福祉センター 12 その他() 13 特にない
<div data-bbox="138 1118 1019 1278" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(部会后 選択肢の追加) 問 44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局内の見直しにより、選択肢の文言を一部追加・修正する。 </div>	<div data-bbox="1019 938 1850 1054" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(選択肢の削除・変更) 問 44</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再構築となった事業について、選択肢を変更する。 </div>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加 下線：削除

平成 2 5 年度 調査実施項目 (案)	平成 2 2 年度 調査実施項目
<p>問 45 あなたは、高齢者のための施策としてどのような点に重点を置くべきだと考えますか。主なものに3つまで をつけてください。(は3つまで)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり・介護予防 2 生きがいづくり 3 就労支援 4 介護保険サービス(居宅サービス)の充実 5 介護保険サービス(施設サービス)の充実 6 介護保険外サービス(問 43 にある福祉サービス)の充実 7 認知症に関する施策の充実 8 虐待防止や財産保全等の権利擁護 9 高齢者施策に関する情報の提供と相談 10 民生委員・町会等の地域の見守り、相談機能の充実 11 若い世代との交流を促進するしくみづくり 12 防災対策の充実 13 公共交通機関のバリアフリー化の促進 14 公園や歩道など、安心して外出・休息できる場の整備 15 高齢者向け住宅や住宅改修助成の充実 16 その他() 17 特になし <p>また、 をつけた中で特に重点を置くべきだと考えるものはどれですか。番号を1つだけお書きください。</p>	<p>問 28 (略)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ~ 6 (略) <u>7 認知症に関する相談窓口の充実</u> <u>8 認知症の人やその家族を支援する介護保険サービスや福祉サービスの充実</u> 9 病院やかかりつけ医における、認知症に関する医療サービスの充実 <u>10 家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること</u> 11 虐待防止や財産保全等の権利擁護 12 高齢者施策に関する情報の提供と相談 13 <u>地域ネットワーク委員会・民生委員・町会等の地域の見守り、相談機能の充実</u> 14 ~ 20 (略) <div data-bbox="1218 863 2085 1082" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(選択肢の変更) 問 45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再構築となった事業について、選択肢を変更する。 ・ 認知症施策に関して、別途、必要な施策を聞くための設問を設けた(問 35)ため、一部の選択肢を削除する。 </div> <p>また、 をつけた中で特に重点を置くべきだと考えるものはどれですか。番号を1つだけお書きください。</p>

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
<p>大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望等を、次の欄に記入してください。</p> <p>高齢者施策に関する意見・要望等</p> <p>【みなさんを対象としました本人調査はここまでです。】</p> <p>次の調査の対象となる方につきましては、引き続き、調査票への回答にご協力をお願いします。</p> <p>ひとり暮らしの方・・・ひとり暮らし調査票 ~ ページ</p> <p>事業利用者の方・・・会食サービスの利用者調査票 ~ ページ</p> <p>事業利用者の方・・・老人憩の家の利用者等調査票 ~ ページ</p> <p>対象とならない方は、これで調査は終了となります。この調査票を同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、郵便ポストに投かんしてください。調査にご協力をいただきありがとうございました。</p>	<p>(文言の追加)</p> <ul style="list-style-type: none">本調査は以上で終わりですが、「ひとり暮らし調査」や「食事サービス」、「老人憩の家」に関する調査票への協力を促す文言を追加する。

大阪市高齢者実態調査 前回との対比表【本人調査】

太字：追加

下線：削除

平成25年度 調査実施項目(案)	平成22年度 調査実施項目
------------------	---------------